

令和7年度 山形のみちづくり評議会 議事要旨

■ 日時・場所

令和8年3月6日（金）15:00～16:30（山形県自治会館 602号会議室、WEB 併用）

■ 出席委員

柴田会長、貝山委員、中谷委員、塩原委員、宮原委員、佐藤委員、岡本委員、永尾委員

■ 議事概要

議題 令和6年度 道路事業の達成度報告

（事務局説明）

- ・ 計画に掲げる19指標のうち12指標で進捗が見られた。
- ・ 前年度時点で中間目標値（R5年度末）に未達だった5つの指標のうち、4つの指標が中間年度（R5年度）から1年遅れで当該目標値を達成した。
- ・ 残りの指標18「市街地エリアにおける主要渋滞箇所数」については、前年度から進捗が見られたものの、実績値が伸び悩んでいることから、最終目標値の達成に向けて取組を加速する必要がある。
- ・ 一方、3つの指標は最終目標値（R10年度末）を達成しており、他の指標についても当該目標値の達成に向け、引き続き事業進捗を図る。
- ・ 全体的に概ね予定通り取組が進捗している。

（委員からの主な意見）

- ・ 施策8「街なかに賑わいを創出するみちづくりの推進」については、あくまで道路事業の視点から街なかにおける賑わい創出に資する指標を選定している旨をわかりやすく示せるとよい。
- ・ 観光推進の視点で、道の駅や観光拠点へのアクセスの案内を強化していただきたい。
- ・ 山形県は降雪量が多いため、堆雪幅を確保した道路整備をぜひ推進していただきたい。
- ・ 山形の特性を活かしたみちづくりの視点では、自転車道の幅員を全国基準より広めの値とすることで冬期は堆雪エリアとして活用するなど、検討の余地があると考えられる。
- ・ 高規格道路について、東北中央自動車道の整備が進んでいるため、今後は太平洋側と日本海側を繋ぐ道路の整備が重要である。

以上